

講座詳細情報

講座No.	H07-1	講座名	保育士養成科(保育士養成)	定員	1~15人
訓練実施施設名	秋草学園短期大学				
所在地	埼玉県所沢市泉町1789番地				
連絡先電話	04-2925-1111				
最寄駅	西武線 航空公園駅または新所沢駅 徒歩8分				
対象者	保育士資格を取得し、幼児教育・保育分野における正社員就職を目指す者				
修了の要件	卒業をもって訓練修了とするもの				
講座内容	指定保育士養成施設での保育士資格取得の講座として、教養教育科目と専門教育科目(実習を含む)で構成されています。保育者に必要なコミュニケーション能力や表現力を身につけるために実践系科目に力を入れ、ピアノ初心者にもきめ細かい丁寧な個別指導を行います。また、実習の事前・事後指導には時間をかけて丁寧に取り組みます。				
訓練期間	令和7年4月3日(木) ~ 令和9年3月18日(木)				[予定]
訓練時間	午前 9時00分 ~ 午後5時50分 (90分 1時限 : 1日 2~5 時限)				
自己負担額	125,542円(テキスト代以外の資格申請料・衣類・保険・特別講座等54,040円を含む)				
オンライン授業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 使用するソフト等 () <input type="checkbox"/> 無				
修了で得られる資格	短期大学士(幼児教育)、保育士、社会福祉主事任用資格				
受講で目指せる資格	幼稚園教諭二種免許状、自然体験活動指導者(NEAL)資格、ベビーマッサージ指導者(受講条件あり)				
目標とする人材像	自然と生命を尊重し、知性と感性を磨き、幼児教育・保育を通して地域社会に貢献できる、人間性豊かな人材となることを目標とする。				
修了後の関連職種	保育士、幼稚園教諭、保育教諭、社会福祉施設職員等				

◆主なカリキュラム

科目	教科	内容	時限数
教養教育科目 (必修)	日本国憲法	憲法の意義を理解し、子どもにまつわる憲法上の諸問題について学ぶ。	15
	体育講義	健康・運動・体力について正しい知識を学び、実践していく力を養う。	8
	カレッジリテラシー	本学の建学の理念を理解し、短期大学の教育に必要な基礎学力や学ぶための姿勢、レポートの書き方、プレゼンテーションの工夫等について学ぶ。	15
	キャリアデザイン	自らのライフキャリア(人生生活全般)を形成するための智慧、それをキャリアデザイン(人生設計)するために必要な理論を学ぶ。	15
	基礎教養講座	短期大学での学修に必要な学力の向上を図りつつ、社会人として求められるスキルと教養を身につける。	15
	保育教養講座	保育者に求められる語彙力、読解力、保育の基礎用語、文章表現力を身につけ、保育の実践記録の記入や読み取り、指導計画案の作成、レポートの書き方など演習を通じて学ぶ	15
	情報機器操作	幼児教育を行う上で必要な情報機器利用について学ぶ。	15
専門教育科目 (必修)	保育原理 I	保育学や幼児教育学に関する基本的な知識、理論、思想を学ぶ。	15
	教育原理	教育の意義・目的や子ども家庭福祉との関連、制度や思想の歴史の変遷などについて学ぶ。	15
	子ども家庭福祉	子ども家庭福祉の歴史の変遷と現代社会における子ども家庭福祉の意義を理解し、子どもと家庭に関する福祉の制度や実施体系など具体的なことを学ぶ。	15
	社会福祉	福祉専門職である保育士が学ぶべき社会福祉の基礎的な知識を習得する。	15
	保育者論	保育者が実習前に知っておくべき、幼稚園や保育所の役割や違い、また年齢による子どもたちの特徴や違いなどについて学ぶ。	15

保育の心理学	教育や保育、子育て支援に生かしていけるように発達や学習の過程に関する基礎知識を学ぶ。	15
子ども家庭支援の心理学	保育士が必要とする人間の各成長段階における発達課題や発達障がい、社会状況に基づく家庭支援の在り方などを学ぶ。	15
子どもの保健	子どもの心身の健康、身体発育・発達を理解し、子どもの健康支援を学ぶ。	15
子どもの食と栄養	子どもを取り巻く食環境を把握し、胎児期から学齢期の発育発達と栄養・食事との関係を学ぶ。	30
保育・教育課程論	保育・教育課程、保育計画の意義及び編成の方法について学ぶ。	15
乳児保育Ⅰ	乳児の発達を理解し、人としてひとり立ちできる過程を学ぶ。	15
乳児保育Ⅱ	乳児保育Ⅰの学習をもとに愛着関係の必要性を理解し、3歳未満児の発育・発達の特徴や生活・遊びの実際と援助、配慮について学ぶ。	15
造形表現(指導法)	「素材、道具について」の造形的側面と、「乳幼児の表現活動について」の心身の発達における側面から、造形を通じた表現について学ぶ。	15
健康	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基礎となる知識、技能を身につける。	15
環境	主に「物的環境」「自然環境」「社会環境」の面から捉え、保育者に求められる援助について学ぶ。	15
言葉	言葉の意義や機能、乳幼児の言葉の発達過程、言葉の楽しさや美しさなどを映像や事例を通して具体的に学ぶ。	15
音楽・身体表現	領域「表現」における音楽・身体表現に関する、乳幼児期の特徴を捉え、乳幼児の感性や創造性を豊かにする表現遊びや音環境について実践的に学ぶ。	15
音楽Ⅰ	保育現場で求められるピアノ演奏技術の修得のための個人レッスンと、音楽の基礎的な知識や理論(楽典)、歌唱法、伴奏法を学ぶ。	15
音楽Ⅱ	音楽Ⅰに引き続き、保育現場で求められるピアノ演奏技術の修得のための個人レッスンと、音楽に関する基礎的な知識や理論(楽典)、歌唱法、伴奏法を学ぶクラス授業を並行して行う。	15
保育所実習指導Ⅰ	保育所実習の目的、内容、方法、実習施設の機能を学ぶとともに、手続書類の作成等について指導を行う。	20

専門教育科目
(必修)

子ども家庭支援論	子育て家庭の支援に関する保育士としての基本姿勢と支援の内容やその支援を実践するための方法、技術等を学ぶ。	15
社会的養護Ⅰ	社会福祉、児童家庭福祉の中の社会的養護の位置を理解し、社会的養護の基礎となる理念や基本原理、実践について体系的に学ぶ。	15
社会的養護Ⅱ	社会的養護における児童の権利擁護や保育士等社会福祉施設従事者の倫理について、また、ソーシャルワークの技術など専門的技術などを体系的に理解する。	15
子どもの理解と援助	幼児期の子どもの発達、遊び、生活の特徴と幼稚園教諭、保育者としての対応方法、保護者に対する支援・指導について学ぶ。	15
保育内容総論	実際の保育場面で、各領域が統合して行われる実際を理解し、保育実践にいかに関与するかを学ぶ。	15
子どもの健康と安全	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について学ぶ。	15
特別支援教育論	障がい者の権利条約と国内法の整備、教育制度の転換を踏まえて、インクルーシブ教育の理念と特別支援教育について体系的に学ぶ。	15
子育て支援	子育てを取り巻く社会的背景と、保育相談支援における保育士倫理と保育士の専門性を活かした子育て支援について学ぶ。	15
健康(指導法)	領域「健康」のねらいと内容等について理解し、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な知識・技能を身につける。	15
人間関係(指導法)	領域「人間関係」のねらい及び内容について、子どもの姿と保育実践とを関連づけて学ぶ。	15
環境(指導法)	領域「環境」の「目的」「ねらい」「内容」の理解を深め、具体的な指導場面を想定した指導方法を身につける。	15
言葉(指導法)	乳幼児が言語を獲得していく過程を理解するとともに、保育実践を行う上で重要な要素を持つ子どもの言葉を実際の事例や発達に基づいて理解する。	15
音楽・身体表現(指導法)	保育内容の各領域を総合的にとらえ表現活動を中心に乳幼児の実態に応じた保育内容の展開や指導法を学ぶ。	15
人間関係	幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身につける。	15
造形表現	幼児の造形表現について、その発達の姿と重要性を理解し、幼児の感性や創造性を豊かに育むための表現遊びや環境構成などの専門的な知識・技能を学ぶ。	15

			保育・教職実践演習(幼稚園)	保育士・幼稚園教諭として必要な学びを振り返り、将来の教職生活のために自己課題を見つける。	15
			施設実習指導	実習の目的、実習施設の機能、保育者の職務内容、および実習手続き書類の作成等について学習し、実習心得を身に付け、実習参加意欲の高揚を図るとともに、各自の実習課題を確立する。	15
			保育所実習指導Ⅱ	保育実習Ⅱに必要な知識や技術を学び、特に、指導実習での指導計画や実習日誌の考え方や書き方について重点を置いて学ぶ。	20
実技・実習	1年次	教養教育科目	体育実技	生涯にわたって運動・スポーツと親しむための基礎的技術の習得、正しい知識、実践方法と運動・スポーツを通して他者との関わり方について学ぶ。	22
		保育実習	保育所実習Ⅰ	保育所保育、保育所の機能・役割、保育士の職務内容について、実際の保育の場で観察・参加実習をすることで理解を深める。	45
	2年次	保育実習	施設実習	施設の役割や機能、日々の生活の展開、利用者の理解と関係の形成、保育者としての職務内容等について実践的に学習する。	45
		保育所実習Ⅱ	実習施設での具体的な実践を通して、保育所の役割や機能、保育の理解を深め、子どもの保育や子育て支援、保育の計画や記録等について実際に取り組む。	45	
選択必修科目	1年次	教養教育科目	英語	英語の基礎学力と、基本的な英語のコミュニケーション能力を養う。	30
			表現とアート	領域「表現」に関する、乳幼児期の特徴を捉え、乳幼児の感性や創造性を豊かにする表現遊びや音環境、造形表現の効果的な使い方について学ぶ。	15
			データサイエンス	パソコンの表計算ソフトウェアを併用した統計処理の基本を学ぶ。	15
			SDGs入門	SDGs(「持続可能な開発目標」)の具体的な内容の学習を通して、日本および世界の現状を知るとともに、社会の一員としての自己啓発意識を育てる。	15
		専門教育科目	保育原理Ⅱ	保育所保育指針、その他制度や実際の運営状況を通じて、現在の課題を深く理解する。	15
	2年次	教養教育科目	生活の科学	現在の環境問題の現状、原因やそれに関連する食物やライフスタイルについて学ぶ。	15
		専門教育科目	臨床心理学	臨床心理学の基礎的知識の習得と現場で生きる臨床心理学の実践的能力を身につける。	15
			心理学特講	自分自身の心の仕組みを探り、自己理解を深めるとともに、人間理解の観点から、人間の心と行動について理解を深めるために必要な心理学の基礎知識を学ぶ。	15
			保育指導方法	育つことが期待される心情、意欲、態度などを達成するための保育の方法を学ぶ。	15
			保育実践研究	保育の場での適切な保育実践を展開していくための指導方法について学んでいく。	15
			幼児の運動遊び	子どもの発育発達の特徴を理解し、それに即した運動遊びについて学び、さらには指導法について実践的に学ぶ。	15
			幼児の音楽遊び	領域「表現」に関する、音楽表現の意義を理解し、乳幼児の感性や創造性を豊かにする音や音楽の表現について実践的に学ぶ。	15
			音楽Ⅲ	音楽Ⅰ～Ⅱで学んだ内容をもとに、子どもの音楽活動を支える基礎技能として、さらに高度なピアノ演奏技術を修得し、教育実習や保育所実習、採用試験で重要視されることもの歌の弾き歌いを中心に学ぶ。	15
			ピアノと幼児の音楽	音楽Ⅰ～Ⅱで学んだ内容をもとに、保育者としてのピアノの技術を向上する。	15
	学習評価	定期試験	中間試験、期末試験、卒業試験、成績発表の登校日等	5	
	科目登録等ガイダンス		科目登録等ガイダンス日、次年度クラス発表等	1	
学校行事等	1年次	新入生オリエンテーション	入学書類の回収、教科書購入、履修・授業、その他学校生活についての説明。		
		健康診断	健康診断(視力・聴力・胸部レントゲン等)		
		新入生交流イベント	幼児教育学科生としての学生生活についてのオリエンテーション、及び学生同士の交流。		
		避難訓練	校内での火災を想定した避難訓練、及び消防署職員による講習。		
		秋草祭	学園祭。模擬店や学習成果発表、外部の団体を呼んでイベント等を実施。年間唯一の学内一般開放日。		
	2年次	健康診断	健康診断(視力・聴力・胸部レントゲン等)		
		避難訓練	校内での火災を想定した避難訓練、及び消防署職員による講習。		
		卒業年次生向けオリエンテーション	卒業に向けて注意事項等のオリエンテーションを実施。		
		秋草祭	学園祭。模擬店や学習成果発表、外部の団体を呼んでイベント等を実施。年間唯一の学内一般開放日。		

就職支援	キャリアコンサルティング	ジョブ・カードを活用した就職支援を行う。	3
	就職関連講座	幼稚園・保育所・施設への就職のための対策講座を実施。	13
	幼稚園・保育所・施設 就職フェア	就職実績のある園や施設の担当者を招いて、園の紹介や学生との相談をおこなう。	1
	入校式・オリエンテーション	入校式・オリエンテーション	2
	ガイダンス・修了式	ガイダンス・修了式	2
①必修科目・総時限数			877
②教養教育科目・選択必修科目(「英語」履修の場合)・時限数			30
③教養教育科目・選択必修科目(「英語」以外履修の場合)・時限数			15
④専門教育・選択必修科目(2科目履修の場合)・時限数			30
⑤専門教育・選択必修科目(3科目履修の場合)・時限数			45
①+③+④総時間数			1844
①+②+④ or ①+③+⑤総時間数			1874
①+②+⑤総時間数			1904